



クラブ活動

エコ・ハウスでは、R7年度後半、2つのクラブが活動しています。

エコ・サイエンスクラブ

今年度は、小学4～6年生 7名で活動しています。講師の立石先生は、今年も絶好調！おもしろいお話がとまりません。

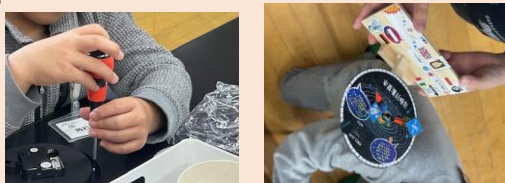
第5回 10月12日
温度計を2本使って、温度と湿度の関係を学びました。



第6回 11月9日
三球儀を作って、太陽・地球・月の動き方を確かめました。



第7回 12月14日
木星の公転周期を計算した後、アナログの時計を利用して「木星時計」を作りました。「木星時計」は、木星が約12年かけて太陽の周りを一周する様子を表しています。



エコ・チャレンジクラブ

今年度は申し込みが多かったので、AとB、2つにわかれて活動しています。クラブ活動を通して、自分なりの「エコライフ」を見つけるのが目標。

第6回 A 10/18 B 10/25
Tシャツから作った布ひもで、布ぞうりづくりにチャレンジ。



第7回 A 11/15 B 11/22
5月に作ったお味噌を使っておみそ汁をつくり、ご飯を炊きました。
Aは、かまどチャレンジ。
Bは、防災クッキングチャレンジ。



第8回 A 12/20 B 12/27
Aは、羊毛でクリスマスオーナメントづくり。おとなりとベ動物園からもらった羊毛で、星やくつしたの形のオーナメントをつくりました。
Bは、レモングラスでお正月飾り作り。エコ・ハウスの前で育てているレモングラスを使いました。



ペレットストーブ

エコハウスには、家庭やオフィスで取り入れることができるエコな技術がいくつも

使われています。
ペレットストーブは、木材をうんと細かくして、ギュギュツ！と小さくかためたペレットを燃やす暖房器具です。木が燃えるときに遠赤外線が出るので体の芯から温まるし、燃える炎には「f分の1のゆらぎ」があって、とても心地よく感じるといわれています。

また、ペレットの原料は、製材工場やチップ工場から出る端材や、使い道がなくて切ったまま放置されてしまうような木。「木」という資源を余すところなく使うことができます。木を切って、使って、また新しく木を植えて、と繰り返すことで、元気な森を保つことができます。

エコハウスで使っているのは、愛媛県産材を原料に、県内の工場で作られたペレット。気持ちよく温まりながら、地元の産業も応援し、森も元気にできる。

みんなにうれしい、エコな燃料です。

